

Press Release

2023年7月25日

アステラス製薬とペプチドリーム 新規の標的タンパク質分解誘導剤創出に向けた 共同研究およびライセンス契約を締結

アステラス製薬株式会社(本社:東京中央区、代表取締役社長 CEO:岡村 直樹、以下「アステラス製薬」とペプチドリーム株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:リード・パトリック、以下「ペプチドリーム」)は、2つの創薬標的に対する新規タンパク質分解誘導剤創出に向けた、共同研究およびライセンス契約を締結しました。両社合意の下で、さらに最大3つの創薬標的の追加が可能になります。

アステラス製薬は、従来の技術では創薬標的にすることが困難なアンドラッグアブルな標的にアプローチするため、標的タンパク質分解誘導に注力しています。本契約により、ペプチドリームの Peptide Discovery Platform System (PDPS)技術^{*1}とアステラス製薬の創薬ケイパビリティを融合し、既存の技術を超えた、多様な標的を対象とする複数の次世代のタンパク質分解誘導剤の創出が可能になると期待しています。本共同研究から創出された製品の開発および商業化は、アステラス製薬が担います。

アステラス製薬は契約一時金としてペプチドリームに30億円を支払います。創薬標的ごとにプログラムの進捗に応じた最大206億円の研究、開発、販売マイルストーンに加えて、1製品あたり一桁台のパーセントで、売上高に応じたロイヤルティーをペプチドリームに支払う可能性があります。

アステラス製薬の経営戦略担当 CStO (Chief Strategy Officer) の Adam Pearson は、「アステラス製薬は研究開発戦略である Focus Area アプローチ^{*2}の中で、特に注力している Primary Focus の一つに『標的タンパク質分解誘導』を掲げています。両社の最先端の技術およびケイパビリティが相乗効果を生み、アステラス製薬のポートフォリオを拡大し、アンメットメディカルニーズの高い疾患のための新たな治療法開発につながると確信しています」と述べています。

ペプチドリームの取締役副社長 COO (Chief Operating Officer) 舩屋 圭一は、「当社の PDPS 技術を活用することで標的に対して高い選択性をもつペプチドを取得することが

可能であり、標的タンパク質分解誘導の領域においても独創的なアプローチが可能です。今般の共同研究において両社の強みを活かし、革新的な医薬品の開発を進めていきたいと考えています」と述べています。

以上

- *1: 多様性を持つペプチド・ライブラリーを作製し、標的に対する高い結合性と選択性を持つ有望な特殊環状ペプチドを効率的に選び出すペプチドリーム独自の創薬開発プラットフォーム
- *2: アステラスは研究開発の戦略として「Focus Area アプローチ」をとっています。詳細は (<https://www.astellas.com/jp/science/focus-area-approach>) をご覧ください。

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>) をご覧ください。

ペプチドリーム株式会社について

ペプチドリーム株式会社(東証プライム市場 証券コード 4587)は、特殊環状ペプチドから新たな革新的医薬品を産み出すことで、アンメットメディカルニーズに応え、世界中の人々の生活の質を向上させることを目指しています。ペプチドリームは 2006 年の設立以来、数兆個もの多様性を持つペプチド・ライブラリーを生み出し、かつライブラリーから効率的に有望かつ選択性の高い特殊環状ペプチドを選び出す独自の創薬開発プラットフォームである Peptide Discovery Platform System(PDPS)技術を活用し、ペプチド創薬、低分子創薬、ペプチド-薬物複合体(PDC)および多機能ペプチド複合体(MPC)による治療薬・診断薬への展開を進めております。ペプチドリームは、共同研究開発パートナーによる広範囲なグローバル・ネットワークを構築し、幅広い疾患領域に対する医薬品の開発・販売を実施します。さらにペプチドリームでは、完全子会社である PDR ファーマを通じて日本における放射性医薬品の販売も実施しています。ペプチドリームの本社の所在地は川崎市です。

当社や当社技術、パイプラインについての詳細については、<https://www.peptidream.com> をご覧ください。

注意事項(アステラス製薬)

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)

競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社
広報
TEL: 03-3244-3201

ペプチドリーム株式会社
IR 広報部
TEL: 044-223-6612